交通死亡事故ゼロ二千日記念入賞作文

こわかったできごと

月潟小学校六年　鷲尾　絵津子

私は、一度交通事故にあいそうになったことがあります。

道路のはじに私がいて、そのとなりに車があって、道路の反対側に行こうとしていたけれど、車がおいてあったので車が来たか来ないか、よくわかりませんでした。それなのに、とび出してしまったのです。

ちょうど車が来たけれど、ぎりぎりで私はけがをしないですみました。でもその瞬間はすごくびっくりしました。

道路の真ん中の方に出てから、左右を見たつもりで、走って向こう側へ渡ろうとしました。左を先に見て、次に右側を見たら、すぐ目の前にいたのです。急ブレーキをかけて止まろうとしました「キーッ」と、すごい音がしました。車が止まったら、私は、急いで向こう側に行きました。もう少し車が早く来ていたか、私がもう少しおそく出ていたりしたら、私は多分死んでいたのかもしれません。交通事故にあうと、一瞬で命はなくなってしまうと思うと恐ろしくなりました。

その日からは、とび出しは絶対しないように注意しようと思うようになりました。

事故のあった場所を通ったり、見たりすると、事故にあった人は、だいじょうぶだったのか、心配になります。同時に、自分が事故にあおうとした時のことが思い出され、暗い気持ちになります。

事故は、楽しい家庭を一瞬にしてこわしてしまいます。

事故にあってからではおそいのです。事故にあった人も、事故をおこした人も、被害者です。

「交通死亡事故ゼロ二千日」を記念して、これからも一人ひとりが気をつけようではありませんか。

悲惨な交通事故を防ぎましょう!!

五十嵐　ヨシエ

「こちらは広報月潟村です、事故を起こさない様、事故にあわない様に気を付けましょう」今日も無線で注意が、うながされています。

出勤時にいい事だなァと思いながら朝の家事をしています。

一度二年前の今頃でした、せがれが、どしゃ降りの雨の朝、出勤する途中、高速料路を降りる時、スピードも出ていたのでしょう、雨の為に、スリップしたのか、ガードレールにぶつかって車はもうメチャメチャだったそうですが早朝なので、終からの車も続いていなく、それにシートベルトのおかげで、本人はたいした事なく十日程の入院で済みましたが一年位は無理出来なかった様です。今でも、ドキッとします。主人も私も娘も、みんな失敗しています。今考えて見れば、どれもこれも、急いでいた時ばかりです。

ハンドルを握ったらぜったいに、あせらない事だと思います。

下の娘は電車通勤ですが、たまに「おくれそうだから車に行く」といって出勤する事があるのですけど出る時に、「遅刻してもいいから、ゆっくり行けよ」といって送り出します。（会社には悪いけど）

又、車で来客の方のお帰りの時は必ず「気を付けてね」と、年上の方なら、一寸気取って「気を付けてぞうぞ」とお見送りします。

それから別居中の、せがれ夫婦には、さびしいけれど子供がいず、孫には恵まれませんがペットの犬がいます。夕方の散歩は私の日課です。連れ出すと、もう、ハシャイでキャンキャンと六十キロ近い私の巨体をグイグイ引っ張って走るのです。歩道から車道に出る時に孫にいう様に「待って待って車が来るよ、あぶない。サァ行こう」と言って渡ります。

動物の悲しさで、私の言う事なんか、わかるのか、解らないのか知りませんが……。

日頃の習慣それだと思います。小ちゃなお子さんには、大人が口うるさい位にしつけをしなくてはいけません。急にトビ出されたのでは、運転者もたまりませんから。

十分な気くばり運転と子供のしつけがあれば、より一層の効果があると思います。たとえ、小さな事故でも、お金はもとより後味の悪いものです。みんなで交通ルールを正しく守り、事故ない五月晴れの様にさわやかな毎日を過しましょう。

■寄付金を頂戴

関根喜作さん（月潟）から村のために役立てて欲しいと一〇〇万円のご寄付をいただきました。

ご芳志にお礼申し上げ、有効に活用させていただきます。

優勝は　曽屋氏　大関氏　佐藤氏に

村民囲碁将棋大会

恒例の村民夏季囲碁将棋大会が、公民館を主催とし、囲碁将棋友好会の主管のもとで去る八月十六日、就業改善センターで開催されました。

今大会は、お盆休みの最中とあってか、将棋の部に十三名、囲碁の部に八名が参加、将棋はA・Bクラスに分けてそれぞれ総あたり戦で行ったもので、暑さを忘れての厳しいながらも楽しい一時でありました。

結果は次のとおりでした。

◎将棋A級の部（敬称略）

優　勝　曽屋　弘
準優勝　小出　昭吾
三　位　伊藤　貢
敢斗賞　原　金平

◎将棋B級の部

優　勝　大関　仁作
準優勝　小林　秀章
三　位　中村　芳男
敢斗賞　五十嵐三治

◎囲碁の部

優　勝　佐藤　耕治
準優勝　植村　脩
三　位　吉田勇二郎
敢闘賞　野内　正

親子のふれあいをめざして　ソフトボール大会を開催

青少年育成月潟村民会議

青少年育成月潟村民会議の主催による親子ソフトボール大会が、八月二十九日、月潟村野球場において行われました。

このソフトボール大会は、楽しく汗を流し、親子のふれあいを深めることで明るい村づくり、明るい家庭づくりに役立てようと、毎年夏休み中に開催しているものです。

一週間日延べしてのこの日午後七時、会場には親と子供五〇名が参加、村長さんを招いての開会式の後、二面に分かれて約二時間、珍プレー、好プレーが続出、タッブリと汗を流して楽しいひとときを過ごしておりました。

（親子ソフトボール大会を通じ、尚一層、親子のふれあいが深まることを村民会議会員一同念願しています。

昭和62年度　後期保育園児の募集

昭和六十二年度後期（十月一日～六十三年三月三十一日）の保育園児を次の通り受付けします。

◎申込み期限　九月二十五日

◎申込み用紙
役場住民課又は保育園にあります。

◎申込み場所
役場住民課又は保育園

※不明の点は役場住民課又は保育園におたずね下さい。

保育園のかたすみで、かぼちゃが小さな芽を出した。

たっ君、みーちゃん水やった。

ペンペン草も取ってやろ。

ひい・ふう・み……なゝつも実った大きいの。

ある晩突然きえちゃった。

“かぼちゃさん、どこ行った?”

たっ君、みーちゃん淋しそう。

共同募金運動
（10月1日～12月31日）

今年も赤い羽根共同募金が行われます。

一人一人の気持ちが大切なのです。ちなみに昨年の総額は二二三億円ものお金が集められ、多様の事に使われました。

募金で何かが約にたちます。皆さんのご協力をお願いします。